

地域と学校がパートナーとなって子供の成長を支える

コミュニティ・スクール通信

岩手県教育委員会事務局
生涯学習文化財課 地域学校連携担当
〒020-0034 岩手県盛岡市内丸 10-1
TEL 019-629-6173
FAX 019-629-6179
E-mail DB0005@pref.iwate.jp

令和2年9月17日発行 第5号

令和元年度県教育研究発表会 コミュニティ・スクール分科会発表資料より

コミュニティ・スクール導入推進モデル研究指定の実践紹介 陸前高田市教育委員会

＜研究指定期間：令和元年度～令和2年度＞

1 陸前高田市がコミュニティ・スクールを導入する意義：「実感を伴い、地域を語り、次世代へ！」

1	子どもたちの学習の充実	社会の変化は速く予測が不可能。人、モノ、本物との関わりによる効果。→感動、気づき、学ぶ楽しさへ
2	地域との共生 (Win-Winの関係)	学校を中心に地域を創造する視点。PTAからPTCAで学校をサポートする視点。※C：community（地域）→学校の良さが継続
3	復興・まちづくりの共有	官民一体のまちづくりの過程を学び、地域への愛着、一体感を育成する視点。→地域を語る事ができる人の育成
4	後世につながる防災教育	市内の地域により、防災の課題は様々。地域と一体となった防災教育が必要。→継続した地域とのつながり

2 既に市内の学校で取り組んでいる地域学校協働活動の例



広田小 お茶体験教室
PTA懇談会の裏番組



矢作小 プログラミング教室
PTA懇談会の裏番組



小友小 プログラミング教室
学級懇談会の裏番組



高田第一中 浴衣着付け教室
2学年家庭科の授業の中で

両輪の一つは軌道にのりつつある。あとは学校運営協議会の立ち上げ！

3 学校運営協議会設置に向けた取組（令和元年2月現在の予定）

時期	取組内容
R1. 7	・副校長会議で説明（各校の地域との連携状況を確認）
R1. 12	・「陸前高田市学校運営協議会規則（案）」を校長会議で提示 ・市教育委員会内での学習会の開催
R2. 1	・「陸前高田市学校運営協議会規則（案）」の検討（校長会から意見集約）
R2. 2	・副校長会議で学習会の開催 ・「陸前高田市学校運営協議会規則（案）」を校長会議で再提示 ・「陸前高田市の子どもたちの様子」（全戸配布）にて周知
R2. 3	・「陸前高田市学校運営協議会規則」の確定・周知
R2. 4	・各校のPTA総会で周知
R2. 5	・学校運営協議会の委員を委嘱（委嘱状の交付とともに、学習会を実施）
R2. 5～	・学校運営協議会の開催 ・地域住民等への周知・発信 ・学校及び委員相互の情報交換・学習会の開催 ・市PTA研修会で学習会を開催

※ 新型コロナウイルスの影響により、実施できなかつたり、延期したりしたものもありましたが、令和2年7月末までに、全ての小中学校がコミュニティ・スクールとなりました。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）

岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。